

アボカド、パッションフルーツなど亜熱帯果樹における国産化可能性の分析と栽培技術の開発

〔分野〕	果樹
〔分類〕	実証研究型
〔研究代表機関〕	（研）農研機構果樹茶業研究部門（地域戦略（亜熱帯果樹）コンソーシアム）
〔参画研究機関〕	鹿児島県農業開発総合センター、（国）鹿児島大学、（研）国際農林水産業研究センター、三重県農業研究所、千葉県農林総合研究センター、東京都総務局小笠原支庁産業課亜熱帯農業センター、岐阜県農業技術センター、（国）京都大学
（普及担当機関）	鹿児島県南薩地域振興局農政普及課・大島支庁農政普及課、三重県中央農業改良普及センター、千葉県農林水産部担い手支援課、東京都小笠原支庁産業課営農研修所、岐阜県農政部農業経営課
〔研究・実証地区〕	鹿児島県指宿市・奄美市、三重県亀山市・伊賀市・南伊勢町・熊野市・松阪市・御浜町、千葉県館山市、東京都小笠原村、岐阜県岐阜市・関市

I 目指す地域戦略と研究の背景・課題

1. 地域戦略の概要

亜熱帯果樹のうちアボカドはより高品質品種を生産できれば国産果実の需要を喚起でき、パッションフルーツは苗木の越冬施設を整備すれば関東以西で広く生産が可能である。これらの国内における栽培技術を開発し、新規果樹として普及を図る。

2. 研究の背景・課題

温暖化の進行によりミカン等の既存果樹生産が難しくなる中、より高温に強く、収益性のある果樹が求められており、亜熱帯果樹への転換が期待されているが、安定生産を可能とする栽培法は不明である。

II 研究の目標

アボカド、パッションフルーツを中心に、国内での高品質・安定生産を可能とする栽培技術を開発する。研究の成果は「栽培の手引き」にとりまとめ、普及担当機関と協力して、手引きを配布し、これらの技術の普及を図ることで、10年後にアボカド栽培面積を鹿児島県で10ha、パッションフルーツ栽培面積を三重・千葉県合計で7ha、生産量を東京都と岐阜県合計で100トンに増加させる。

III 研究計画の概要

1. 南日本におけるアボカド等の栽培技術の開発

（1）暖地におけるアボカド等の栽培技術の開発

暖地の露地・施設栽培で、連年着果し、安定生産可能な技術を確認し、栽培の手引きを作成する。

（2）南西諸島におけるアボカド等の栽培技術の開発

南西諸島において、連年着果し、安定生産可能な技術を確認し、栽培の手引きを作成する。

（3）アボカド安定生産条件の解明

高品質果実生産が可能な生理的条件を解明し、手引に活用する。

2. パッションフルーツの栽培技術開発と亜熱帯果樹の経営評価

（1）パッションフルーツ等の国産化に向けた品種・系統の評価と亜熱帯果樹生産の経営評価

有望系統の地域適応性を明らかにし、新規導入時の経営条件を明らかにする。

（2）西南暖地におけるパッションフルーツ等の露地生産技術の開発

新露地栽培法の適応性、効果、収益性を明らかにし、栽培の手引きを作成する。

（3）関東におけるパッションフルーツ等の栽培技術の開発

関東における栽培の手引きを作成し、長期安定生産に不可欠な大苗生産技術について解明する。

（4）亜熱帯地域におけるパッションフルーツ施設栽培技術の開発

施設栽培技術を開発し、効果を検証するとともに栽培の手引きを作成する。

（5）内陸部における加工用パッションフルーツ等の栽培技術の開発

多収栽培に係る要因技術を組み合わせた露地栽培体系を確認し、栽培の手引きを作成する。

3. 亜熱帯果樹の結実条件の解明

開花結実の生理メカニズムを解明して、栽培指針の裏付けとする。

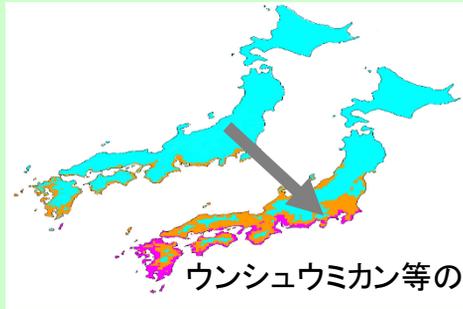
4. 亜熱帯果樹の適地性の解明

気象条件と生理・生態反応状況を明らかにして、現在から2050年代までの適地移動を推定する。

アボカド、パッションフルーツなど亜熱帯果樹における 国産化可能性の分析と栽培技術の開発

温暖化時代の新産業として期待されるアボカド、パッションフルーツの国内生産技術を開発する。

温暖化



既存産地で
生産困難に



高温で生産可能な亜熱帯果樹の導入が必要

すでに導入可能な地域での、技術確立は喫緊の課題

新産業として本格的に導入可能な栽培条件・栽培方法は不明



広く導入が可能な2品目を中心とした生産技術の確立

アボカド



すでに輸入品によるマーケットが存在し販路が得やすい

パッション
フルーツ



南日本から東日本まで最も広域的に栽培が可能とみられる有望樹種

1. 南日本におけるアボカド等の栽培技術開発

- (1) 暖地におけるアボカド等の栽培技術開発 (鹿児島県)
- (2) 南西諸島におけるアボカド等の栽培技術開発 (鹿児島県)
- (3) アボカド安定生産条件の解明 (鹿児島大学)



3. 亜熱帯果樹結実条件の解明 (京都大学)
4. 亜熱帯果樹の適地性の解明 (農研機構)



2. パッションフルーツの栽培技術開発と亜熱帯果樹の経営評価

- (1) パッションフルーツ等の国産化に向けた品種・系統の評価と亜熱帯果樹生産の経営評価 (JIRCAS)
- (2) 西南暖地におけるパッションフルーツ等の露地生産技術の開発 (三重県)
- (3) 関東におけるパッションフルーツ等の栽培技術開発 (千葉県)
- (4) 亜熱帯地域におけるパッションフルーツ施設栽培技術の開発 (東京都)
- (5) 内陸部における加工用パッションフルーツ等の栽培技術開発 (岐阜県)